

平成21年6月1日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2007～2008

課題番号：19520704

研究課題名（和文） 沖縄の動物供犠をめぐる民俗学的研究

研究課題名（英文） On Animal Offerings Manifested in Okinawan Folklore

研究代表者

辻 雄二（TSUJI YUJI）

国立大学法人 琉球大学・教育学部・教授

研究者番号：20272122

研究成果の概要：

沖縄県内4地点において、それぞれ民俗誌的記述の完成に向けた予備的調査及び一部先島地域での悉皆調査をおこなった。その結果宮古地域の伊良部島佐良浜と石垣市川平では、動物供犠祭祀が境界祭祀に動物供犠を伴うもので、御嶽信仰とも深い関わりをもつことが明らかとなった。この成果については平成20年11月に言語文化研究会において発表をおこない、動物供犠関連資料のデータベース化については継続し随時公開していく予定である。

交付額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	1,400,000	420,000	1,820,000
2008年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
年度			
総計	2,400,000	720,000	3,120,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学

キーワード：動物供犠、祭祀儀礼、民俗学

1. 研究開始当初の背景

沖縄とその周辺を取り巻く環東シナ海地域の文化事象に関しては、これまで主に「沖縄学」の研究対象とされ、それは東シナ海を取り囲む諸民族、あるいは地域間交流の具体的様相を示す研究としても注目されてきた。本研究を開始するにあたっては、沖縄本島南部と北部地域に散見される牛を供犠とする祭祀儀礼に注目し、そこに見られる歳時観念についての調査研究を進めてきた。

2. 研究の目的

本研究は「沖縄学」の研究蓄積を踏まえ、更なる環東シナ海の基層文化研究を進めるべく、動物供犠に注目した民俗学的実証研究をおこなうものである。具体的には沖縄の民俗社会に伝承される、牛をカミに供犠として祀る祭祀習俗についての実地調査および資料の収集・整理をおこない、新たな視点から分析を進めることを目的とする。

動物供犠をとまなう祭祀儀礼については、これまでの調査によって、広く「琉球文化圏」に散見されるが、伝承を保持する各地

域が所謂グローバル化の波に飲み込まれ、あるいは伝承母体の変化を余儀なくされる今日の状況を考えると、その実地調査は急務であり、本研究は民俗誌的記述を目指した悉皆調査の必要性に鑑み、宮古地域及び八重山地域における研究調査をおこない、それぞれ民俗誌的記述へと結び付けたいと考える。

3. 研究の方法

沖縄本島においては糸満市喜屋武、知念村志喜屋、与那城町屋慶名、名護市屋部の四か所、宮古地域では伊良部島佐良浜、八重山地域では石垣島川平、以上6か所において祭祀儀礼を中心とした民俗調査をおこなった。

また、南西諸島地域における動物供犠関連資料の収集をおこない、これをデータベース化を図るために整理・分類をおこなった。

4. 研究成果

糸満市喜屋武、知念村志喜屋、うるま市与那城屋慶名、名護市屋部の四地点について、民俗誌的記述の完成に向けて、今回予備的調査及び一部先島地域での悉皆調査をおこなった。その結果宮古地域の伊良部島佐良浜では、新たな動物供犠祭祀について理解を深めることができた。

また、八重山地域の石垣市川平におけるインテンシブ調査では、境界祭祀に動物供犠を伴うこと、そして御嶽信仰とも深い関わりをもつ事例を突き止めることができた。

いずれも現在報告書の執筆を進めているところであるが、周辺地域との関わりについての調査が不十分であることから、報告書の完成にむけて補足調査の必要性が生じており、現在も継続調査にあたっているところである。尚、糸満市喜屋武及び知念村志喜屋については、すでに執筆を終えており、平成20年11月に言語文化研究会において発表をおこなった。

また、動物供犠関連資料のデータベース化は、沖縄本島のデータを入力したものの、その汎用に向けてのシステム化については完成することができず、当面紙媒体を通じて発表していくことにし、同時に沖縄本島周辺離島、先島から与那国島、そして奄美地方に至る地域の資料を収集・入力は今後継続しておこなう予定である。特に資料収集に関しては、琉球大学附属中央図書館、沖縄国際大学図書館、沖縄県立図書館、沖縄県立博物館所蔵の図書資料については既に完了し、南西諸島地域の21の自治体図書館および教育委員会発行の関係資料の収集をおこない、随時データ入力をおこなうことができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計1件)

①辻雄二，沖縄における『満洲開拓移民』の記憶、『季刊中国』，89号，2007年，20-30頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

辻雄二 (TSUJI YUJI)

琉球大学・教育学部・教授

研究者番号：20272122

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者